

平成26年度事業報告

1. 通常総会

平成26年6月24日(水) 午後5時00分～午後6時00分 (仙台国際センター)

2. 理事会

平成26年度理事会役員

※非役員

	M系	E系
理事		佐久間一郎
副理事	山家 智之	野村 泰伸
総務員	村垣 善浩	大城 理
財務	砂川 賢二	中沢 一雄
学術部	松田 哲也	中沢 一雄
支	楠岡 英雄	吉田 正樹
	山家 智之	中沢 一雄
	砂川 賢二	
規約(制度改革)	伊関 洋	吉田 正樹
将来計画	松村 泰志	木村 裕一
	石原 謙	椎名 毅
企画(活性化)	橋爪 誠	大城 理
	増山 理	野村 泰伸
国際委員会	砂川 賢二	椎名 毅
	村垣 善浩	佐久間一郎
		大城 理
	(顧問)阿部 裕輔	(顧問)牧川 方昭
	(陪席)楠岡 英雄	(陪席)木村 裕一
国際編集	砂川 賢二	椎名 毅
	松村 泰志	木村 裕一
		中沢 一雄
教育	橋爪 誠	吉田 正樹
ME技術教育	石原 謙	大須賀美恵子
C E	石原 謙	嶋津 秀昭
		大須賀美恵子
医用生体工学基盤検討	山家 智之	椎名 毅
ME研究推進	橋爪 誠	椎名 毅
医学科ME教育	石原 謙	
	増山 理	
選挙管理	村垣 善浩	
	伊関 洋	
広報	松田 哲也	野村 泰伸
生体医工学連絡		吉田 正樹
利益相反	石原 謙	木村 祐一
監事	阿部 裕輔	牧川 方昭
定款改定WG	楠岡 英雄	吉田 正樹
大会あり方	山家 智之	
生体医工学会事務局長	村垣 善浩	大城 理

理事会開催 7回(6/23、6/24、8/1、10/31、1/16、3/13、4/10)

### 3. 第53回大会

会 期：平成26年6月24日（火）～26日（木）

会 場：仙台国際センター

大 会 長：松木 英敏（東北大学大学院）

### 4. 会員現状

	平成26年3月末現在	平成27年3月末現在	増減
名誉会員（名）	62	62	+2
正会員（名）	1872	1735	-137
準会員（名）	190	177	-13
維持会員（団体 [口]）	13 [18口]	14 [19口]	+1

#### ◆平成26年度物故会員

名誉会員：古川 俊之(平成26年10月21日)、寺本 滋(平成26年12月25日)、  
仁村 泰治(平成27年3月23日)

正 会 員：大森 豊明(平成26年7月7日)、宮本 幸夫(平成26年7月19日)、  
廣川 俊二(平成27年3月31日)、大友 仁(平成27年4月2日)、  
小田 元樹、芹生 順一、森反 俊幸

準 会 員：白井 直仁(平成26年11月28日)

### 5. 機関誌発行

(1) 「生体医工学」第52巻第2号（通巻号数269）～第53巻第1号（同275）

(2) Advanced Biochemical Engineering (ABE) volume 3

### 6. 平成26年度専門別研究会

	名 称	氏 名	幹事（順不同）	回数
1	次世代治療技術開発の為の細胞組織・分子機能の計測・制御研究会	石原 美弥	佐藤 正人、石井 克典、藤田 真敬、中井 完治、石川 顕一、寺西 利治	3-4
2	精神医療とME研究会	植野 彰規	福井 裕輝、村井 俊哉、加藤 綾子、関根 雅樹、塚本 壮輔	3
3	生体信号計測・解釈研究会	簗 弘幸	山本 義春、中尾 光久、百瀬 桂子、吉田 久	3
4	ニューロ・インフォマティクスにおけるME研究会	神保 泰彦	鈴木 隆文、土肥 健純、佐久間一郎、小林英津子、高橋 宏知、満洲 邦彦	4
5	バイオメカニクス研究会	坂本 信	山本 衛、大橋 俊朗、馮 忠剛、小林 公一、須藤 亮、長山 克也、氏原 嘉洋、工藤 奨、杉田 修啓	5
6	BME on Dementia 研究会	志村 孚城	湯ノ口万友、齊藤 正夫、梶谷 文彦、武者 利光、木村 伸、池田 研二、山下 和彦、奥山恵理子、椎名 毅、浅川 毅、灰田 宗孝、田中 有希、大城 昌平、高橋 聡、保坂 良資、山田 憲嗣、清水 孝一、内山 尚志、重森 健太	3
7	次世代内視鏡技術研究会	山田 憲嗣	生田 幸士、石原 謙、長倉 俊明、高橋 秀也、吉田 成人、香川景一郎、吉本 佳世	3
8	分子デリバリー研究会	佐藤 俊一	寺川 光洋、小玉 哲也、森 士朗、寺本 憲功、玉川 雅章、川内 聡子	1
9	未来のバイオメディカルデザイン研究会	生田 幸士	池内 真志、加藤大香士、森島 昭雄、長谷川大忠、山田 章、山田 憲司、石原 謙、長倉 俊明、大野ゆう子、川崎 和男、國本 桂史、服部 泰	3

10	ナノテクノロジーと物理エネルギーを融合した標的化診断・治療研究会	守本 祐司	青木伊知男、上坂 充、西山 伸宏、櫻井 孝司、鈴木 亮、江頭 健輔、武田 元博、銭谷 勉	2
11	医療機器に関するレギュラトリーサイエンス研究会（略称：RS研究会）	村垣 善浩	鈴木 孝司、佐久間一郎	2
12	ニューロリハビリテーション・ロボティクス研究会	山本紳一郎	久野 弘明、青柳陽一郎、田川 善彦	1
13	医用アクチュエーション研究会	丸山 修	西田 正浩、阿部 裕輔、岡本 英治、山家 智之、増澤 徹、福長 一義	3
14	航空・艦船医工学研究会	三戸恵一郎	石原 謙、大川 元久、篠原 一彦、生田 幸士、加納 隆、菊池 眞、見目 恭一、酒井 順哉、坂牧 孝規、佐藤 俊一、鈴木 正之、関根 広介、武田 朴、花田 英輔、平野 知、広瀬 稔、堀 純也、稲田 紘	2
15	マルチモーダル脳情報研究会	栗城 眞也	青山 敦、外池 光雄、管 幹生、岩木 直、中川 誠司、小野 弓絵、山口 亨、王 力群、	3
16	医療電磁環境研究会	廣瀬 稔	花田 英輔、加納 隆、石原 謙、平野 知、野島 俊雄、杉浦 敏文、木村 健一、新 秀直、目黒 勉、松川 智彦、松月 正樹	4
17	生体医用画像研究会	佐藤 嘉伸	橋本 守、安達 和彦、大城 理、木村 裕一、黒田 輝、黒田 嘉宏、椎名 毅、島田 順一、清水 昭伸、杉本 直三、原口 亮、中村 亮一、仁木 登、西川 敦、橋本 守、正宗 賢、森 健策、横田 秀夫	5
18	Active againを支援するバイオメディカル工学研究会	酒谷 薫	田川 武、宇川 義一、斉藤 卓朗、村山 嘉延、橋田 浩一、松本 隆	2
19	ユビキタス情報メディアと医療システム研究会	保坂 良資	瀬戸 僚馬	5

専門別研究会協議会を平成26年6月25日に、仙台国際センターで開催。

## 7. 他団体との共催の研究会

MEとバイオサイバネティクス研究会（電子情報通信学会との共催）

委員長：小林 哲生（京都大学）

副委員長：福岡 豊（工学院大）

## 8. 支部活動

(1) 北海道支部（支部長：清水 孝一，支部幹事：加藤 祐次）

①支部総会開催日：2014年10月11日（土）

②支部総会開催会場：北海道大学大学院情報科学研究科A21教室

③その他の行事

・MEとバイオサイバネティクス研究会（協賛）

開催日：2014年6月13日（金）

開催会場：北海道大学情報科学研究科 情報棟11階大会議室

・生体医工学シンポジウム2013

開催日：2014年9月26日（金），27日（土）

開催会場：東京農工大学小金井キャンパス

・第53回日本生体医工学会北海道支部大会

開催日：2014年10月11日（土）

開催会場：北海道大学大学院情報科学研究科A21教室

・第44回生体医工学研究会  
開催日：2014年10月17日（金）  
開催会場：京王プラザホテル札幌・扇の間

・第45回生体医工学研究会  
開催日：2014年11月28日（金）  
開催会場：北海道科学大学 5号館1階5106教室

・第46回生体医工学研究会  
開催日：2014年12月12日（金）  
開催会場：北海道科学大学 5号館1階5106教室

④総括，その他通信  
特になし

(2) 東北支部（支部長：松木 英敏，支部幹事：佐藤 文博，白石 泰之）

①支部総会開催日：平成26年12月6日（土）

②支部総会開催会場：東北大学工学部青葉記念会館602号室

③その他の行事

・第48回日本生体医工学会東北支部大会（大会長：松木英敏，日本生体医工学会東北支部主催，東北大学工学研究会スピニクス研究会協賛）

開催日：平成26年12月6日（土）

開催会場：東北大学工学部青葉記念会館大研修室

④総括，その他通信

平成26年12月6日（土）に，東北支部大会と総会を東北大学工学部青葉記念会館大研修室にて行った。特別講演として，加藤健太郎氏（独立行政法人 医薬品医療機器総合機構）による「PMDAの役割と薬事規制から見た医療機器開発の考え方」と題した講演が行われた。生体医工学，医療機器開発に於ける大変有意義な講演内容であり参加聴講者に好評であった。また，一般演題は33件あり，8セッションに分かれ大変活発な質疑応答が行われた。

(3) 甲信越支部（支部長：牧野 秀夫 支部幹事：岩城 護）

①支部総会開催日：平成26年10月18日（土）

②支部総会開催会場：山梨大学工学部 情報メディア館5F（山梨県甲府市武田4-3-11）

支部大会

・第34回甲信越支部大会

開催日：平成26年10月18日（土）

開催会場：山梨大学工学部 情報メディア館5F（山梨県甲府市武田4-3-11）

大会長：阪田 治（山梨大学工学部 情報メカトロニクス工学科）

③その他の行事

・体医工学シンポジウム2014

（日本生体医工学会関西支部、九州支部、関東支部、北海道支部、甲信越支部、関東支部主催）

開催日：平成26年9月26日（金）- 27日（土）

開催会場：東京農工大学 小金井キャンパス（東京都小金井市中町2-24）

・第12回日本生体医工学会甲信越支部長野地区シンポジウム

開催日：平成26年3月7日（金）

開催会場：信州大学松本キャンパス（長野県長野県松本市旭3-1-1）

大会長：杉原 伸宏（信州大学産学官連携推進本部医学部知的財産活用センター）

④総括，その他通信

無し

(4) 関東支部（支部長：福井 康裕 支部幹事：福長 一義，京相 雅樹，加藤 綾子）

①支部総会開催日：2014年11月22日（土）

②支部総会開催会場：東京電機大学 東京千住キャンパス

③その他の行事 (日)行事名称 (月)開催日 (火)開催会場)

- ・第23回フロンティア講演会共催：2014年2月28日～3月1日、東京理科大学葛飾キャンパス
- ・関東支部若手発表会2014主催、2014年11月22日(土)、東京電機大学 東京千住キャンパス 演題数47件、参加者95名であった。実行委員長：三井和幸先生(東京電機大学工学部機械工学科)

④総括、その他通信

関東支部では、若手研究者の研究の活性化を目的として、今後も若手研究者発表会などの活動を続けていく予定である。

(5) 東海支部 (支部長：平井 真理 支部幹事：渡邊 英一)

- ①支部総会開催日：平成25年度10月19日(土)
- ②支部総会開催会場：株式会社スズケン本社2階会議室(名古屋市東区)
- ③その他の行事
  - ・日本生体医工学会東海支部学術集会  
開催日：平成26年10月18日(土)  
開催会場：株式会社スズケン本社ビル

(6) 北陸支部 (支部長：中村真人 支部幹事：中島一樹)

- ①支部総会開催日：平成26年12月6日(土)
- ②支部総会開催会場：富山駅前 CiC ビル5階  
〒930-0002 富山県富山市新富町1-2-3
- ③その他の行事
  - 1) 平成26年度電子情報通信学会 ME とバイオサイバネティクス研究会 (MBE) (共催)  
平成26年5月24日(土) 富山大学工学部
  - 2) 平成26年度電気関係学会北陸支部連合大会 (主催)  
平成26年9月11日(木)、12日(金) 富山高等専門学校本郷キャンパス
  - 3) 第1回評議員会 (メール審議)  
平成25年6月5日～18日  
第2回評議員会  
平成26年12月6日(土)、富山駅前 CiC ビル5階
  - 4) 特別講演 (主催)  
平成26年12月6日(土)、富山駅前 CiC ビル5階  
講師：大阪大学大学院 基礎工学研究科  
教授 新井 健生 先生  
演題：「バイオアセンブラー—マイクロロボティクスとバイオの融合—」
  - 5) 支部大会 (主催)  
平成26年12月6日(土)、富山駅前 CiC ビル5階  
一般公演 14題
  - 6) 支部大会研究奨励賞 表彰式  
平成26年12月6日(土)、富山駅前 CiC ビル5階

④総括、その他通信

- 1) 電気関係学会北陸支部連合大会 北陸支部大会 表彰  
生体工学関連セッションにおいて、優秀な研究成果を発表した研究者に対して「優秀発表賞」を贈る。9名の発表のうち5名が審査に応募し、厳正な審査の結果、以下の1名が表彰された。  
【優秀発表賞】 1名  
・氏名(所属) 島 大輔 (富山大学)、共著者：金 主賢・楓 久貴・若林祐次・中島一樹  
タイトル「細胞内 Ca<sup>2+</sup>イメージング法を用いた青斑核ニューロンに対するグレリンの作用解析」
- 2) 日本生体医工学会 北陸支部大会 表彰  
支部大会において将来性が期待できる優秀な研究成果を発表した39歳以下の若手研究者に対して「研究奨励賞」及び「研究敢闘賞」を贈る。厳正な審査の結果、12名の応募者の中から以下の3名が表彰された。

【研究奨励賞】 2名

・氏名(所属) 森田奈々(福井大学)、共著者:長谷川良平・伊藤哲史・村瀬一之池田弘  
タイトル「電位イメージングによる上丘層間の機能的非対称の解明」

・氏名(所属) 長嶋太良(富山県立大学)、共著者:高野博史・中村清実  
タイトル「視線予測のための文字特徴に対する視覚的注意分析」

【研究敢闘賞】 1名

・氏名(所属) 若林祐次(富山大学)、共著者:金 主賢・島 大輔・中島一樹  
タイトル「パッチクランプ法を用いた結節乳頭核に対するグレリンの作用解析」

(7) 関西支部(支部長:楠岡 英雄 支部幹事:木戸 倫子, 熊本 悦子, 中尾 恵, 山田 憲嗣)

①支部総会開催日:平成26年12月6日(土)

②支部総会開催会場:京都大学 桂キャンパス Bクラスター事務管理棟 1F「桂ホール」(京都市)

③その他の行事

1) 生体医工学シンポジウム2014

平成26年9月26日(金), 27日(土) 東京農工大学 小金井キャンパス (東京都小金井市)

2) 日本生体医工学会関西支部講演会

平成26年12月6日(土) 京都大学 桂キャンパス (京都市)

3) バイオメクフォーラム21 研究会

第72回:平成26年4月19日(土), 第73回:平成26年7月5日(土)

大阪大学 豊中キャンパス (大阪府豊中市),

第74回:平成26年10月25日(土) 立命館大学びわこ・くさつキャンパス(滋賀県草津市),

第75回:平成26年12月6日(土) 京都大学 桂キャンパス (京都市)

4) 大阪大学 臨床医工学・情報学スキルアップ講座

平成26年6月7日(土)～平成27年3月24日(火)

大阪大学中之島センター(大阪市北区), 大阪大学 豊中キャンパス(大阪府豊中市)・吹田  
キャンパス(大阪府吹田市)

5) システム制御情報学会・計測自動制御学会 チュートリアル講座2014

「-自動車運転支援技術の基礎から最新動向まで-」

平成26年7月22日(火) 常翔学園 大阪センター(大阪市北区)

6) MEとバイオサイバネティクス研究会(MBE)

平成26年10月18日(土) 大阪電気通信大学駅前キャンパス(大阪府寝屋川市)

7) 第9回日本材料学会関西支部 若手シンポジウム

「~若手による材料研究の開拓・継承・融合~」

平成26年12月5日(金), 6日(土) 滋賀県青年会館 アーブしが(滋賀県大津市)

8) システム制御情報学会セミナー2014

「広がるセンサ ~Trillion Sensors、医療から農業・畜産まで~」

平成26年12月10日(水) 京都テルサ(京都市)

9) 計測自動制御学会関西支部・システム制御情報学会若手研究発表会

平成27年1月16日(金) 大阪大学医学部・銀杏会館(大阪府吹田市)

④総括, その他通信

1) 生体医工学シンポジウム2014

主催:一般社団法人 日本生体医工学会 関東支部、北海道支部、甲信越支部、関西支部、  
中国四国支部、九州支部

共催:なし

組織委員長:梶田晃司(東京農工大学)

副委員長:内貴猛(岡山理科大学)

日時:平成26年9月26日(金), 27日(土)

場所:東京農工大学 小金井キャンパス

演題数:154題

参加者:269名(各種委員会委員49名、一般100名、学生120名)

## ■シンポジウム論文

生体医工学（申込み 48 件）>>（実際の提出は 34 件）

採択 3 編，査読中 20 編，返却 9 編，取り下げ（未提出含）16 編 ※11月27日現在  
Advanced Biomedical Engineering（ABE）（申込み 32 件）>>（実際の提出は 24 件）  
採択 7 編，査読中 14 編，返却 3 編，取り下げ（未提出含）8 編 ※11月27日現在

## ■ベストリサーチアワード

ベストリサーチアワード審査対象論文：33 編

（うち「生体医工学」に投稿 14 編，「ABE」に投稿 19 編）

「アワード審査対象論文」について選奨委員会で精査した結果，以下に示す 6 件の発表を「生体医工学シンポジウムベストリサーチアワード」に選出した。

- ・「ネコ初期視覚野における神経細胞の同期的な活動」  
岡村純也、里中俊太、永江恒大、秦良佑、田中智康、王鋼
- ・“Automatic Doppler Volume Fusion of 3D Ultrasound by using Point-based Registration of Shared Bifurcation Points” Shinya Onogi, Tuan Hung Phan, Takashi Mochizuki, Kohji Masuda
- ・「3次元超音波音場の時分割送信による微小気泡の局所的捕捉効率向上のための実験的検討」  
澤口冬威、保坂直斗、江田廉、小野木真哉、望月剛、榊田晃司
- ・“Automatic quantification of muscular activity in REM sleep” Kohzoh Yoshino, Norihisa Kimura, Akinori Iyama, Saburo Sakoda
- ・“Pilot Study on Evaluation of Baroreflex Function using Green Light Photoplethysmogram”  
Makoto Abe, Makoto Yoshizawa, Kazuma Obara, Norihiro Sugita, Noriyasu Homma, Tomoyuki Yambe
- ・「聴覚性定常脳磁界応答の音楽的期待による変調」  
竹下悠哉、角屋智香、木村勁介、松永理恵、栗城眞也、横澤宏一

## ■ベストレビューアワード

シンポジウム論文査読者の中から，査読内容に基づき，選奨委員会が以下に示す 4 名の査読者をベストレビューアワードに選出した。

- ・ Jihyoung Lee 先生（立命館大学）
- ・ 三浦直樹 先生（東北工業大学）
- ・ 田中敏幸 先生（慶應義塾大学）
- ・ 中村和浩 先生（秋田県立脳血管研究センター）

## 2) 日本生体医工学会関西支部講演会

世話人：小林哲生（京都大学）

日時：平成 26 年 12 月 6 日（土）13:50-17:30

場所：京都大学 桂キャンパス B クラスター事務管理棟 1F「桂ホール」

主催：日本生体医工学会関西支部 共催：バイオメクフォーラム 21

1. 「ネイマールに学ぶ脳の効率的運動制御」  
内藤 栄一（NICT 脳情報通信融合研究センター 研究マネージャー）
2. 「非侵襲的なヒト脳刺激法とその臨床応用の可能性」  
美馬 達哉（京都大学 大学院医学研究科附属脳機能研究センター 准教授）
3. 「人腕の運動制御機構」  
小池 康晴（東京工業大学 ソリューション研究機構 教授）

## (8) 中国・四国支部（支部長：木内 陽介 支部幹事：小笠原 康夫、望月 精一）

①支部総会開催日 平成 26 年 10 月 4 日（土）

②支部総会開催場所 岡山大学 大学院自然科学研究科 大講義室兼大会議室

開催日 第 37 回支部大会 平成 26 年 10 月 4 日（土）

開催場所 岡山大学 大学院自然科学研究科 大講義室兼大会議室

③その他の行事（Ⅰ行事名称 Ⅱ開催日 Ⅲ開催会場）

Ⅰ)岡山県医用工学研究会・第1回セミナー

Ⅱ)平成26年6月7日

Ⅲ)アークホテル岡山（岡山市）

Ⅰ)MEとバイオサイバネティクス研究会

Ⅱ)平成26年7月26日

Ⅲ)岡山大学医学部保健学科会議室（岡山市）

Ⅰ)岡山県医用工学研究会・第2回セミナー

Ⅱ)平成26年10月10日

Ⅲ)岡山大学鹿田キャンパス内マスカットキューブ（岡山市）

Ⅰ)岡山県医用工学研究会シンポジウム

Ⅱ)平成27年2月26日

Ⅲ)岡山大学鹿田キャンパス内マスカットキューブ（岡山市）

④総括，その他通信

本年度は愛媛地区で支部大会を開催し、他に共催研究会を4回開催した。

いずれの会でも活発な討論と研究交流が行われた。

平成27年度支部大会は広島県で開催予定である。

(9)九州支部（支部長：樗木 晶子 支部幹事：）

①支部総会開催日：平成26年3月1日（土）

②支部総会開催場所：九州工業大学飯塚キャンパス

③その他の行事

1)①生体医工学シンポジウム2014（関西・関東・北海道・甲信越の各支部と共催）

②開催日時：平成26年9月26日（金）・27日（土）

③催会場：東京農工大学

④総括

九州支部では平成21年度まで支部学術講演会を3月に開催していたが、会計年度の変更により平成22年度は1月、平成23年度と平成24年度は12月に開催した。しかし、時期的に演題が集まりにくいと、平成25年度はこれを開催せずその他の事業（H25年9月：生体医工学シンポジウム2013、H25年12月：支部特別講演会）の実施に注力した。平成26年3月に平成25・26年度の支部総会を開催した。

9. 国際委員会

委員長：椎名 毅

委員：砂川 賢二，石原 謙，木村 裕一，神保 泰彦，南部 雅幸，村山 嘉延

伊良皆 啓治，吉田 正樹，松本 健郎，小笠原 康夫，中村 亮一，白石 泰之，

湊 小太郎，野川 雅道

顧問：梶谷文彦，菊地 眞，斎藤正男，堀 正二，田村 俊世

(1) The IFMBE Asian Pacific Research Network Fellowship の準備

2015年6月にトロントで開催のIUPESM主催のWorld Congress 2015にあわせ、アジア太平洋地域の若手生体医工学研究者間の交流の促進を目的に実施されるAsian Pacific Working Group主催のResearch Network Fellowshipプログラムの準備を進めた。プログラムへの参加者を公募し、1名（東北大学 山田昭博氏）を選出しAPWGに推薦した。

(2) 今後のWorld Congressの日本誘致について

3年毎に開催のWorld Congressの2021年の開催地の公募があったことから、日本開催にむけて準備すべきか日本医学物理学会から問い合わせを受けて、協議した。その結果、本学会と日本医学物理学科と連携して次の2024年の日本誘致を目指すこととした。

10. 編集委員会

組織

生体医工学編集委員長：杉町 勝

Editor-in-Chief, Advanced Biomedical Engineering (ABE)：木村 裕一



副編集委員長（両誌共通）：大城 理，中尾 光之，松村 泰志  
編集担当理事：松村 泰志，中沢 一雄，木村 裕一

## 2015 年度の活用内容

本年度は以下の活動を行った。

1. 生体医工学は、第 52 巻 1 号から 4 号と、仙台での大会の発表を収載した電子版の別冊一つを出版した。
2. ABE は、第 4 巻として 13 論文を出版した。27 編の投稿があったが、このうち 7 編が海外からであった。
3. 生体医工学シンポジウム 2014 論文を発行した。
4. 両誌共に J-Stage から電子版を公開しているが、生体医工学に対する年間アクセス数は 62,000 件、ABE に対しては 6,000 件であった。また ABE では、中国、アメリカ合衆国、インド、ドイツが主たる国外のアクセス元であった。
5. ABE の国際的な認知度を向上するために、PMC (旧、PubMed Central) への収載のための申請の準備を進めた。PMC による審査では、電子出版に関する技術面と、編集や査読の体制を正す体制面の両方が対象となるが、それぞれについて国際基準に則っての整備を進めた結果、技術面に対しては完了した。
6. インパクトファクター取得へ向けた準備に着手した。PMC への収載は、この一環である。
7. ABE に、電子投稿システムである Editorial Manager を導入するための準備を進めた。2015.4 より稼働の予定である。生体医工学と同じシステムを使用することから、両誌に対して一貫した編集体制を取ることが可能となる。また、電子投稿システムの管理機能を活用することで、査読に掛る事務作業を低減できることから、査読の更なる迅速化及び質の向上が期待できる。
8. 厚生省及び文科省からの「人を対象とする医学系研究に関する倫理指針(平成 26 年文部科学省・厚生労働省告示第 3 号)」を踏まえ、投稿において倫理委員会による承認を必須とした。
9. 医学領域における出版上の倫理を正確に取り扱うために、利益相反 (COI) の有無及びその開示を論文で記述することを必須とした。
10. 論文投稿の勸奨、英語論文執筆の勸奨、生命倫理や出版倫理の普及を目的とした教育講演を、仙台大会及び生体医工学シンポジウム 2014 で実施した。名古屋大会でも実施する。
11. 編集委員会を、2014 年 6 月の仙台大会、及び 9 月の生体医工学シンポジウムにて開催した。また、随時メールを用いた審議を行っている。

### 1.1. 教育委員会

委員長：大須賀 美恵子

副委員長：石原 謙

委員：吉田 正樹，山家 智之，清水 孝一，岡田 英史，木村 裕一，南部 雅幸，  
牧川 方昭，渡部 祐司

(1) 2014 年生体医工学サマースクール (第 11 回) を開校した。

主催：日本生体医工学会

共催：計測自動制御学会生体・生理工学部会

日本機械学会バイオエンジニアリング部門

IEEE EMBS Japan Chapter

実行委員長：山口大学大学院医学系研究科 平野 靖

期間：2014 年 8 月 6 日(火)～8 日(木)

場所：山喜旅館 〒414-0022 静岡県伊東市東松原町 4-7

参加者：14 名 (大学院生 11 名，学部生 3 名)

テーマ：統計アトラスを用いた CT 像からの臓器領域抽出

内容：講演 (計算解剖学とは：東京農工大学 清水昭伸，統計アトラスにおける統計数理基礎：名古屋工業大学 本谷秀堅，統計アトラスの応用システム：奈良先端科学技術大学院大学 佐藤嘉伸，Pluto の使い方と Plugin の作り方：名古屋大学 二村幸孝，臨床における計算解剖学とその周辺：東京大学 花岡昇平)，米国 Johns Hopkins 大学での研究経験－留学希望の若手へのメッセージ：奈良先端科学技術大学院大学 大竹義人)，実習とコンテスト (統計形状モデルと臓器抽出 Plugin の作成)，パネルディスカッション (計算解剖学の課題・展望～若手からの提言)

(2) 次年度のサマースクール開催にあたり、各共催団体から委員の推薦を受け、ワーキンググループを結成し、進め方やテーマについて議論して、案を決定した。

(3) ME 選書についていくつかの候補の提案を受けていたが、出版計画立案には至らなかった。

## 12. ME技術教育委員会

委員長：嶋津 秀昭

委員：相澤 康弘、石原 謙、石山 陽事、稲田 紘、上松 弘明、大庭 和夫、小野 哲章、加納 隆、小山 裕徳、白井 康之、高橋 誠、立花 博之、津坂 昌利、長倉 俊明、中島 章夫、福長 一義、堀内 邦雄、水谷 好成、峰島三千男、守本 祐司

### (1) 第20回第1種ME技術実力検定試験

#### A) 受験希望者用講習会

##### ①東京会場 (帝京平成大学)

2014年4月6日(日) 受講者130名

##### ②大阪会場 (コングレコンベンションセンター)

2014年4月13日(日) 受講者111名

#### B) 第1種試験

##### ①実施日 2014年6月15日(日)

- ②実施会場
- 札幌：北海道大学
  - 東京：帝京平成大学
  - 名古屋：名古屋大学
  - 大阪：コングレコンベンションセンター
  - 札幌：福岡県中小企業振興センター

##### ③受験者 (カッコ内は応募者数) \*科目受験者数含む総数

札幌： 28名 (28名)  
東京： 212名 (233名)  
名古屋： 45名 (49名)  
大阪： 170名 (179名)  
福岡： 68名 (69名)  
合計： 523名 (558名)

##### ④合格者数 (カッコ内は合格率)

※第8回より「科目合格制」を導入

- ・総合合格者  
152名 (29.1%)
- ・「ME基礎論」合格者  
13名 (2.6%)
- ・「ME機器論」合格者  
35名 (7.0%)

### (2) 第36回第2種ME技術実力検定試験

#### ①実施日 2014年9月7日(日)

#### ②実施会場、受験者 (カッコ内は応募者数)

札幌：札幌医学技術福祉歯科専門学校	391名 (404名)
仙台：東北工業大学	274名 (285名)
東京：①工学院大学	2,310名 (2,464名)
②北里大学	
名古屋：名古屋大学	666名 (697名)
大阪：コングレコンベンションセンター	1,262名 (1,333名)
岡山：川崎医療福祉大学	784名 (827名)
福岡：代々木ゼミナール福岡校	874名 (911名)
合計：	6,545名 (6,921名)

#### ③合格者数 (カッコ内は合格率)

全国：2,198名 (33.5%)

### (3) 第36回ME技術講習会 (財団法人医療機器センターと共催)

- A) テーマー医療機器安全基礎講習会一
- B) 実施会場、実施日および受講者数

- ①福岡会場（九州大学医学部百年講堂）  
2014年6月21日（土） 270名
- ②札幌会場（北海道経済センター）  
2014年6月28日（土） 136名
- ③仙台会場（仙台国際センター）  
2014年7月5日（土） 205名
- ④東京会場（大田区産業プラザPio）  
2014年7月12日（土）、7/27（日）（2回開催） 456名
- ⑤大阪会場（大阪国際会議場）  
2014年7月26日（土） 307名
- ⑥名古屋会場（ミッドランドホール）  
2014年8月10日（日） 134名

### 13. クリニカルエンジニアリング委員会

委員長：嶋津 秀昭

委員：小野 哲章、大須賀美恵子、加納 隆、山越 憲一、篠原 一彦、堀川 宗之、  
野村 真理、峰島三千男、星野 洋、石原 謙、小山 裕徳、中島 章夫、  
石山 陽事、堀内 邦雄

#### (1) 臨床ME専門認定士合同認定委員会（日本医療機器学会と合同）

- ・第16回認定者 53名（総合計： 895名）
- ・第10回認定更新者 86名
- ・更新講習会を開催

①第15回講習会 2014年 6月12日（木） 新潟 朱鷺メッセ 受講者数 41名  
10月29日（土） 東京 発明会館 受講者数 133名

#### (2) ME技術教育委員会の活動支援

- ・第1種・第2種ME技術検定試験
- ・医療機器センターとの共催ME技術講習会

### 14. 医用生体工学研究基盤検討委員会

委員長：山家 智之

副委員長：椎名 毅

委員：増澤 徹、衣良皆 啓治、大城 理、砂川 賢二、三浦 英和、木村 祐一、杉町 勝  
白石 泰之、篠原 一彦、嶋津 秀昭、成瀬 恵治、橋爪 誠、石原 謙、中島 一樹  
太田 裕治、山森 伸二

幹事：小林 英津子

生体医工学フォーラムの今後の在り方について検討した。

### 15. 広報委員会

委員長：野村 泰伸

副委員長：松村 泰史、井村 誠孝

委員：伊良皆 啓治、植野 彰規、加納 慎一郎、黒田 嘉宏、内貴 猛

幹事：前田 義信

本会事務局の協力の下、学会ホームページからの情報発信を実施した。特に、ホームページ上の入会手続きに関する情報の英語化を実施した。また、広報活動とともに各種委員会、関連学会、研究会の活動支援のための情報提供などを推進した。

### 16. ME研究推進委員会

委員長：橋爪 誠

委員：浅野 薫、石原 謙、伊良皆啓治、岡崎 利彦、岡田 正彦、岡本 英治、北風 政史、木内 陽介、篠原 一彦、清水 孝一、杉浦 清了、砂川 賢二、南部 恭二郎、野村 泰伸、姫野 龍太郎、松本 健郎、三浦 裕正、山根 隆志、山家 智之、渡部 祐司

幹 事：生田 幸士、長倉 俊明（事務局）

26年度は、各委員の医工学研究推進に関連した活動をリストアップし、以下に列挙した（自己申告分）。本委員会委員の活動報告に限定したものではありませんが、学会活動は広汎で、多領域にわたることがわかった。また、各大学や地域、政府に対して多くの機会を利用して「医工学の重要性」について講演や提言をしている実態があきらかとなった。特に、医工学の新たな設置や、次世代の人材育成を目指した教育（講義や講演）、啓蒙、広報活動が、顕著な活動として認められた。さらに、企業との共同研究の推進や、企業人の育成、医学と工学、企業間のマッチングなど我が国の医療機器産業振興と国際競争力強化のための活動も目立った。ただし、学会としてまとまった活動や、提言などに乏しく、一部には医工学講座の消滅や、減少なども起きており、学会レベルでの組織としての対応も望まれる。今後の課題として、「医工学領域の研究推進と人材育成」を目指した教育環境の創出（専攻の設置など）や、ポストの確保、研究環境の充実があげられる。さらに、若手の将来を見据えた出口戦略として、我が国医療産業の振興と国際競争力強化への貢献が重要と考えられた。

## 活動リスト

### 1) 委員の活動学会（医工学に他学会等での講演）

CBI学会2014年大会、第24回日本病態生理学会大会、2014 Myofilament Meeting、第48回河口湖心臓討論会、2nd Integrative Cardiovascular Imaging Symposium、第13回 Tokyo Heart Consortium、第18回東北生活習慣病研究会、第91回日本生理学会大会、第78回日本循環器学会学術集会、第75回冠循環談話会、東大病院先端医療開発フォーラム、徳島大学LED医用研究プロジェクトの推進（LED Japan 等各種展示会、アカデミックフォーラム）、日本人工臓器学会、西新宿整形外科研究会 Spring Seminar 2014、北海道膝関節研究会、日本医大講演、北海道膝関節研究会、杏林大学講演、山形大学整形外科研究会、第3回Orthopedic Update Symposium in Tokushima、日本再生医療学会、日本癌学会、日本遺伝子治療学会、日本内視鏡外科学会、生体医工学シンポジウム、日本ガン免疫療法学会、日本PDA製薬協会、アカデミックフォーラム、Bioジャパン、生体医工学会中四国支部大会、日本超音波医学会、日本医療情報学会、日本外科学会、日本消化器外科学会、日本内視鏡外科学会、日本コンピュータ外科学会、日本消化器病学会、日本ロボット外科学会、CARS2014、ACCAS2014、日本泌尿器内視鏡学会、日本泌尿器科学会、日本整形外科学会、日本肝臓学会、日本臨床外科学会、日本臨床外科学会、日本脳外科学会

### 2) 医工連携研究推進

- ・ 愛媛大学医学部附属病院人工関節センターの設置、研究部門での新しい人工膝関節のデザインに関する特許出願
- ・ 九州大学先端医療イノベーションセンター共同研究部門での医療機器開発研究推進
- ・ 福岡県ふくおか医療福祉関連機器開発・実証ネットワーク、九州ヘルスケア産業推進協議会（九州経済産業局）とともに、企業と工学のシーズ発掘と、医療現場でのニーズの探索およびマッチング。病院内でセミナーを開催し、企業人の医療産業への参入や人材育成を推進
- ・ 文部科学省橋渡し研究支援推進プログラム：GMP規格の細胞製剤の製造加工など
- ・ 経済産業省：iPS細胞等自動培養装置開発加速事業
- ・ 四国地域医療機器関連産業支援フォーラム in 愛媛（四国経済産業局）
- ・ 学外医療機関との共同研究
- ・ 企業若手技術者との交流、研究室からMEや医療統計学の講師派遣
- ・ ME産業への参入を企画している企業への技術指導、市場性評価等への協力
- ・ 愛媛県産業創出課を中心に、県行政へ協力し、医療関連産業創出育成をサポート。プロジェクト推進方法への提言、質問への回答、講習会、見学会等の実施
- ・ 医工学専攻科の設置に関する活動
- ・ 文部科学省新学術領域「多元計算解剖学」における医工学教育セミナーを開催、国内外の教育カリキュラムを参考に我が国独自の教育カリキュラム作成を目指す

### 3) 啓蒙・広報活動

- ・ ラジオ日経 心臓財団 虚血性心疾患セミナー 「心臓血管のシミュレーション」、TBSテレビ 夢の扉 スパコン“京”で未来を予測せよ！ 世界初の“未来予測” スパコン「京」の新たな挑戦台風・津波対策から近未来の医療まで～人類救う現代の英知、
- ・ 日本人工臓器学会編集委員会にて、日本生体医工学会編・“先端医療を支える工学—生体医工学へのお

誘い”の出版と同本の生体工学科連絡委員会による高校への広報活動の紹介した

4) 政府機関における活動・提言

- ・ 独立行政法人 医薬品医療機器総合機構 科学委員 CPC 専門部会委員、医療機器専門部会委員
- ・ 特定再生医療認定委員会委員
- ・ 厚生労働省、経済産業省合同医療機器開発・審査ガイドライン作成委員会委員

5) 大学・大学院講義

- ・ 生体工学：工学部機械情報学会；心臓循環
- ・ 医用電子：医学部1，2年生；医学（外科）と工（光）学の連携
- ・ アンチ・レギュラトリーサイエンス論（レギュラトリーサイエンスへの科学哲学的批判と、方法論の提言）
- ・ 阪大基礎工学部、立命館バイオメクフォーラム21研究会で若手育成
- ・ 東京農工大生体工学シンポジウム
- ・ 愛媛大学医学部1回生への医用電子の講義・実習
- ・ 日本生体医工学会会員や医工学関連若手研究者の勉強のための e-Learning Movie
- ・ 九州大学医学部講義：医工学入門、医学研究特論（2年生）、医工連携（4年生）、大学院講義、先端医工学セミナー

6) 高校・出前授業

- ・ “いま、複合領域がおもしろい —医療工学の世界—”：生体医工学の紹介と、生体医工学を学べる全国の大学を紹介
- ・ 生体工学科連絡委員会による高校への広報活動の紹介
- ・ 日本生体医工学会・生体医工学科連絡委員会が参加する進学相談会（福島・郡山市）にて、東海大学が開発する補助人工心臓を展示する予定

7) 執筆

- ・ 臨床工学講座 医用治療機器学（監修 日本臨床工学技士教育施設協議会）；熱治療機器 ハイパーサーミア（癌温熱療法）装置
- ・ 日本生体医工学会編・“先端医療を支える工学—生体医工学へのお誘い”の出版
- ・ IST News（北大 情報科学研究科のニュースレター、「生体工学は必要か」（2015年1月30日）

1.7. ME教育WG

WG 長：石原 謙

委員：荒木 勉、伊関 洋、稲岡 則子、大須賀 美恵子、岡田 武夫、岡田 美保子、北風 政史、佐久間一郎、佐藤 正明、澤 芳樹、篠原 一彦、鈴木 洋司、砂川 賢二、津坂 昌利、中谷 純、成瀬 恵治、南部恭二郎、野村 泰伸、橋爪 誠、不二門 尚、増山 理、松村 泰志、三浦 裕正、守本 祐司、山田 憲嗣、山家 智之、渡部 祐司  
幹事：篠原 一彦、長倉 俊明

現在の医療現場ではME機器なしでの診療行為は全く想像もできないにもかかわらず、医学部におけるME教育は他の医学系科目での授業時間の増加のあおりで沈滞の一途である。これを改善するために、ME教育担当の教員や技官がほとんどいない医学部でも活用できるように、医学部のためのME教育資料・テキスト等を策定するための作業を、ME教育WGとして立ち上げて開始した。独立科目として「医用工学」の科目を設けている大学は現在全国で24校あるとされる（H21全国医学部長病院長会議調べ）が憂うべき少なさである。独立科目がない場合にも、生理学や該当する臨床科での講義の中で基本的な内容は学習している筈であるが、実態は単純な講義に終始することが多く、効果は限られている。

本WGとして、医用電子・電気電子・流体力学・医用工学等に研究開発ならびに学生教育での造詣と経験の多い医学部・工学部教員を中心に、大学医学部での医用電子（大学によっては、医用工学あるいは医用生体工学等々の講義・実習名称は異なるが）の授業に役立つ講義と実習のカバーすべき内容とその方法・担当の検討を始めた。

また、医学部教員に生体医工学の専門性が不足していても医学生に教育できるツールの一つとしてe-learningのビデオコースがあり得るが、そのための講義・実習の現状把握のために授業撮影を愛媛大学医学部の授業と実習において、近い将来に実用化・普及が想定されるTV規格である4kシステムで実施した。未撮影領域の撮影と、今後の編集作業が残っている。

## 18. 生体医工学科連絡委員会

委員長：吉田 正樹 幹事：山本 衛

委員：寺田 信幸、内貴 猛、苗村 潔、橋本 成広、林 紘三郎、花房 昭彦、三田村 好矩、望月 明、森 晃

### 1) 目的

全国の生体医工学科と関連学科を連携して、社会一般、特に高校生などの青少年に対して、全国的規模で生体医工学の分野を紹介し、啓蒙をはかるための方策を企画して実施するとともに、共通の問題点の洗い出しと、解決方策について検討する。

### 2) 委員会

3回の委員会（6/25, 12/29, 3/3）を開催した。

### 3) 事業

#### ・進学相談会参加

株式会社さんぼう開催の進学相談会に委員を派遣し、無償提供された学会ブースで高校生等を対象として分野と学科に関する広報活動（分野と学科の紹介、講義）を実施した。全国で12回の相談会で合計187名がブースに来訪した。また、これらの相談会で配布された同社の刊行物「新しい学びのすすめ（理学・工学・生命科学系、4万部印刷・配布）」に、分野紹介の記事（無料）と広告（有料）を掲載した。

#### ・分野紹介の書籍の刊行

理事会の承認を得て本委員会が中心になり編集委員会を立ち上げ、高校生や一般社会に分野を紹介するための出版物「先端医療を支える工学— 生体医工学への誘い —」（コロナ社新コロナシリーズ）をH26年4月に刊行した。高校を中心に広報活動を展開し、2月26日現在で702冊が販売された。さらに本年4月より大学と高等専門学校各1校で教科書に採用された。なお、会員は会員特別価格で出版社から直接購入することができる。

#### ・JSTサイエンスキャンプ（文科省主催）参加

H26年度は、芝浦工業大学システム理工学部生命科学科（8/4-6、福祉機器の体験と動作解析実習を基にした未来型福祉機器の提案）、東洋大学理工学部生体医工学科（8/18-20、血圧ってなんでしょう？～血圧が上がったり、下がったりする仕組み～）が応募しいずれも採択された。合計で110名の第一希望応募者があり、43名の高校生が参加した。自らの学科への志願者増を期待する近視眼的考えではなく、長い目で見て分野の広報、ひいては発展につながるものと期待できるが、残念ながらこの事業はH26年度をもって終了することがJSTによって決定された。

#### ・就職先確保・拡充のための活動

12月15日に芝浦工業大学大宮キャンパスで「医療福祉機器関連業界研究セミナー」を開催し、8大学から93名の学生と1名の教員が参加した。アンケート調査によると非常に好評であったことから、このようなセミナーを、複数個所で継続的に開催することとした。

## 19. 日本生体医工学会大会あり方委員会

1. 大会長の選出方法について検討した。基本的に理事会で決定し、大会総会で報告する方向性がベターとの意見があり、2年先まで決定しておいて会場を確保する方向性で検討し、大会ありかた委員会で提言していく方向性で理事会の一致を見た。大会長について、会員であれば立候補できる資格があり、名誉会員が立候補する可能性もあるので、「一般会員」でなく「会員」とするべきという意見で調整している。現段階の案では、基本的に公募とするが、大会長の立候補には、二名の評議員の推薦が必要という内規の提案があった。全会員に封書で立候補を募る方法論もあるが、HPからの情報発信でいいのではないかという意見もあり、会員メイリングリストで回してはどうかという意見があった。
2. 大会の開催場所について、基本的に、昔は、医学と工学が交代交代？ 東京と地方が交代交代？ の伝統があり、地方の、地域おこしの意味？ もあったが、震災があり、IEEEがあり、最近では空文化しており、「たまには東京？」くらいの位置づけにしてはという意見が大きかった
3. 大会の内容は、基本的に大会長に任せるが、人工臓器学会などでは、欧州人工臓器と米国人工臓器と並列で国際人工臓器を支え、お互いに招聘し合って国際セッションを進めているので。IEEEや、IFMBEとの関連をどうするべきか？ に、ついて議論があった。一応の筋から言えばIFMBEとの関連が深いですが、現在は、ABEがあるので、そんなに連携は必須ではなく、これも、「たまに東京」の時だけ、国際シンポジウムにしてはという意見が強かった。大会のセッションについては、秋のシンポがポスターで、春もポスターだと、ほとんど差別化が出来ない？ と、いう意見も多かったが、会場は、ポスターの方が安いので、会場と会計の関連で考え直す意見があり、継続的に審議していくこととした

4. 学会屋さん関連の経費について、年間契約にして、サマースクールやシンポジウムを一貫して安くするという意見もあったが、地方地方の学会さんが少ないところもあり、また、利権化すると公益法人として良くないので、今後とも継続して議論していく
5. 大会の演題公募法については、UMIN が素直だが、ちょっと演題数が足りない？可能性もあり。仙台大会は UMIN だった。UMIN への入力も含め学会屋さん委託の方法もあるが、今後継続して審議していくこととした
6. 会費については、一万五千前後で現在推移しているが、インフレやアベノミクス、円安の影響もあり、柔軟に対応していくしかないかもしれない、
7. 大会あり方の審議の方向性について、今回の議論を、記録に残して、次期理事長、理事会にも、メモ書きとして、申し送ることとした

## 20. 選奨委員会

24 p のように各賞選定委員会を組織し、平成 26 年度選奨各賞受賞候補者を選定した。

なお、平成 14 年度第 3 回理事会において、当面、阪本賞賞金を 20 万円より 10 万円に減額することが決定している。

## 21. 選挙管理委員会

委員長：伊関 洋（早稲田大学先進理工学研究科）

幹事：植松 美幸（国立医薬品食品衛生研究所）

委員：岡本 淳（東京女子医科大学）

吉光喜太郎（東京女子医科大学）

平成 27 年 2 月 18 日に平成 27・28 年度理事・監事（26 p）が選出され、3 月 6 日開催の平成 26 年度第 6 回理事会において確認された。

## 22. 利益相反委員会

委員長：石原 謙

委員：荒木 勉、生田 幸士、稲岡 則子、伊関 洋、江刺 正喜、北風 政史、木村 裕一、齋藤 逸郎、澤芳 樹、清水 孝一、篠原 一彦、杉町 勝、砂川 賢二、長倉 俊明、中谷 純、成瀬 恵治、野村 泰伸、橋爪 誠、馬場 一憲、満洲 邦彦、三浦 裕正、守本 祐司、山田 憲嗣、山家 智之、渡部 祐司

幹事：篠原 一彦、成瀬 恵治

文部科学省、厚生労働省、日本医学会等からの、各学会での利益相反規程の策定と委員会の設置要請を受け、前記諸団体から通知されている利益相反にかかわる指針やガイドラインに準拠した内規と自己申請書類を作成しているところである。本学会ならびにわが国での研究開発と産業振興に最も適した手間のかからぬそして、理解しやすい利益相反のマネジメント方法がに必要と認識している。誤解による「利益相反はない」という包括的な表示や宣言をさせないことにも留意し、目下、内規と自己申告書案を策定し本委員会ならびに理事会に供覧し、意見を収集しているところである。

## 23. 他団体との共催・後援・協賛状況（依頼受付順）

### （1）後援

1. 第 43 回日本医療福祉設備学会
2. 不整脈治療関連指定講習会・基礎編/応用編
3. 第 4 回呼吸治療関連指定講習会
4. 日本医療機器学会 第 7 回 MDIC（医療機器情報コミュニケーター）認定セミナー
5. 心の絆プロジェクト 被災地支援活動「ヒューマン・ケア心の絆プロジェクト」
6. 神奈川科学アカデミー 「聞いて、見てやってみて、体でおぼえるねじの基本」
7. 産業技術総合研究所 「医療機器ガイドライン活用セミナー」
8. 第 25 回日本臨床工学技士会
9. YRP 研究開発推進協会「ワイヤレス・テクノロジー・パーク 2015」
10. 日本医療機器学会「第 90 回日本医療機器学会大会」
11. ナノ学会 第 13 回大会

(2) 協賛

1. ライフエンジニアリング部門シンポジウム 2014(LE2014)
2. 第 57 回自動制御連合講演会
3. センシング技術応用セミナー
4. 第 35 回超音波エレクトロニクスの基礎と応用に関するシンポジウム
5. ヒューマンインタフェースシンポジウム 2014
6. 第 31 回センサ・マイクロマシンと応用システム
7. 第 16 回日本感性工学会大会
8. キャビテーションに関するシンポジウム(第 17 回)
9. SIG 姿勢保持講習会 2014
10. 日本人間工学会 第 55 回大会
11. 第 15 回 SICE システムインテグレーション部門講演会
12. 第 35 回日本熱物性シンポジウム
13. 2014 国際シンポジウム マイクロ・ナノメカトロニクスとヒューマンサイエンス
14. 第 31 回センシングフォーラム 計測部門大会
15. システム制御情報学会・計測自動制御学会 チュートリアル講座 2014
16. 血液・細胞の可視化計測実験とシミュレーションとの融合
17. 第 24 回インテリジェント・システム・シンポジウム
18. 第 38 回東京電機大学 ME 講座
19. 日本ロボット学会 第 87 回ロボット工学セミナー
20. 日本材料学会 2014 年度 JCOM 若手シンポジウム
21. 計測自動制御学会 システム・情報部門学術講演会 2014 (SSI2014)
22. 電気化学会関東支部 第 50 回学際領域セミナー
23. 日本光学会 第 41 回冬期講習会
24. 日本リハビリテーション工学協会 第 29 回リハ工学カンファレンス in ひろしま
25. 人間-生活環境系学会 第 38 回人間-生活環境系シンポジウム
26. 日本機械学会 2014 年度計算力学技術者 (CAE 技術者) 資格認定事業
27. 日本医療福祉設備学会・日本能率協会 HOSPEX Japan2014
28. 次世代センサ協議会 センサ・アクチュエータ・マイクロナノ/ウィーク 2014 次世代センサ総合シンポジウム
29. モバイル学会 シンポジウム「モバイル15」
30. 日本機械学会 シンポジウム:スポーツ・アンド・ヒューマン・ダイナミクス 2014
31. 日本機械学会 第 27 回バイオエンジニアリング講演会
32. バイオメディカル・ファジィシステム学会 第 27 回年次大会
33. 全国公私病院連盟 第 26 回国民の健康会議
34. 日本磁気学会 第 199 回研究会
35. 第 3 回日本 MRS 講演会 「関節軟骨損傷に対する再生医療技術の現状と課題」
36. システム制御情報学会セミナー2014「広がるセンサ~Trillion Sensors, 医療から農業・畜産まで~」
37. 計測自動制御学会 第 27 回自律分散システム・シンポジウム
38. 日本機械学会「有限要素法による骨のバイオメカニクス解析入門~理論から応用まで~」
39. 日本機械学会「2015 年情報精密機器のメカトロニクスに関する日本・米国機械学会合同会議」
40. 物質・材料研究機構「第 13 回ナノテクノロジー総合シンポジウム」
41. システム制御情報学会「システム制御情報学会セミナー2014」
42. 平成 26 年度衝撃波シンポジウム実行委員会「平成 26 年度衝撃波シンポジウム」
43. 日本複合材料学会「第 6 回日本複合材料会議」
44. 日本人間工学会「日本人間工学会第 56 回大会」
45. 第 34 回日本医用画像工学会大会
46. 第 24 バイオメカニクスシンポジウム・第 36 回バイオメカニクス学術集会
47. 日本工学教育協会「平成 27 年度工学教育研究講演会」
48. 3 次元画像カンファレンス 2015
49. 日本真空学会関西支部「第 51 回真空技術基礎講習会」
50. 日本機械学会「ロボティクス・メカトロニクス講演会 2015」
51. 第 32 回「センサ・マイクロマシンと応用システム」シンポジウム
52. 計測自動制御学会「ライフエンジニアリング部門シンポジウム 2015」